

第566号

主な記事

- ・厚労省・デジタル庁に要請 (1面)
- ・歯科接着セミナー (2面)
- ・県内市町村 子ども医療費自己負担・所得制限なし 6割 (2面)
- ・Googleビジネスプロフィールセミナー (3面)
- ・糖尿病講演会 (4面)
- ・会員紹介シリーズ② (4面)



発行所 岩手県保険医協会

〒020-0034  
盛岡市盛岡駅前通15-19  
TEL 019-651-7341(代)  
FAX 019-651-7374  
発行人 小山田 榮 二  
https://www.i-hoken-i.org  
購読料 年2,400円(〒別)  
会員の購読料は会費に含まれています。

# 保険証必要9割超え

## 厚労省・デジタル庁に要請

10月19日、衆議院第2議員会館会議室にて、東北保険医団体連絡会は厚生労働省とデジタル庁に要請を行いました。当会からは小山田榮二会長(保団連理事)、黒田康之副会長と事務局が参加、ほか東北各協会から役員と事務局、保団連事務局、高橋千鶴子衆議院議員のあわせて17名が参加しました。

厚労省からは山根清保険局医療介護連携政策課係長、上原拓真保険局医療課主査、デジタル庁からは今井康治国民向けサービスグループ参事官補佐が出席しました。東北ブロックから3つの要望書(下記)を提出、それに対し、厚労省・デジタル庁の担当者の回答を受け、懇談を行いました(③は事前に文書回答あり)。

オンライン請求義務化で閉院も

要望①について、厚労省は「マイナ保険証にはメリットがあるため、丁寧に対応していきたい。オンライン請求義務化はパブリックコメントでたくさんのご意見があり、地域医療に支障が出ないよう丁寧な周知を図っていきたい」と回答。



司会進行を務める小山田会長(左)

デジタル庁も「様々なメリットがあることから、一体化を進め来年度、保険証廃止を目指している。カード自体は国民の申請となっており、ここを変えることはせず、資格確認ができない方がないよう資格確認書をつかり詰めてやっていきたい」と回答しました。

これに対し、黒田副会長は会員アンケートで90・4%が保険証を必要としていること、県内での高齢者施設でのアンケート結果と県議会で「健康保険証廃止の中止等を求める請願」が採択され、意見書が厚労大臣やデジタル大臣等に提出されたことを報告しました。地域医療を守る上で、特に医師・歯科医師が少ない地域ではオンライン請求義務化による閉院がその地区の医療だけでなく、健診事業もできなくなるなど大きな影響を与えること、既に閉院となっている医院があることも併



岩手の状況を説明する黒田副会長(右)

コロナ前より厳しい状況

②について上原氏は来年のトリプル改定は物価高騰や患者負担も考慮し中医協の議論も踏まえて

せて報告し、「健康保険証」廃止方針とオンライン請求義務化の撤回を求めました。山根氏は、非常に重要な問題でありしっかりと対応していきたいと述べました。

秋田協会の草薙会長は、秋田市内の病院ではコロナ病床を維持するのが難しくなった。コロナ対応をしていた看護師の退職が増え、現場は疲弊している。コロナ特例で何とか持ちこたえたが、梯子を外されさらに厳しい状況に追い込まれている。このままでは地域に住む患者さんの命を守れない、今までは違うということを念頭に置いて



小沢一郎衆議院議員政策秘書の宇田川勲氏(左)に要請

国会閉会中で、議員本人とは会えませんでしたが、秘書の方に託しました。

午後は県選出国会議員を訪れ、3つの要望書と会員の先生方へご協力いただいた「すべての医療機関を守るため診療報酬の大幅引き上げを求める医師・歯科医師要請署名」75筆を手渡しました(寄せられたひと言は4面掲載)。



いのちまもる集会には2200人が現地参加

ほしいと話しました。県選出国会議員へ要請



日比谷から東京駅までパレード

小山田会長・黒田副会長もパレードに参加し、社会保障充実を求めて都内を歩きながらアピールしました。

いのちと人権まもる政治へ転換を

当日、13時から東京・日比谷野外音楽堂にて「医療・介護・福祉に国の予算を増やせ!いのちまもる10・19総行動」医療・社会保障の拡充で、いのちと人権まもる政治へ転換を」と題した集会が行われており、途中参加しました。

- 〈要望項目〉
- ① 現行の「健康保険証」廃止方針およびオンライン請求義務化の撤回を求める要望書
    - ・現行の健康保険証を残し、マイナンバーカードの取得申請・健康保険証化を強制しない
    - ・オンライン請求義務化方針を撤回し、光ディスク等・紙レセプトでの請求の新規適用を終了しないでください
  - ② すべての医療機関を守るため診療報酬の大幅引き上げを求める要望書
    - ・基本診療料を中心に、診療報酬を大幅に引き上げてください
    - ・国民の健康を守るため、患者窓口負担を軽減してください
  - ③ 新型コロナウイルス感染症に対する検査・治療薬の公費負担及びコロナ病床への財政措置等を求める要望書
    - ・新型コロナウイルスの検査・治療に対する公費負担を復活してください
    - ・新型コロナウイルス治療薬の費用については、一部自己負担は導入せず、全額公費負担を継続してください
    - ・新型コロナウイルス治療のための入院の高額療養費上限緩和措置を継続してください
    - ・病床確保料に対する財政措置を5類移行前と同程度に引き上げ、継続してください

減のひびき

最近「言語化」という言葉を耳にする。私にとって聞きなれない言葉であったが、最近注目を集めているキーワードのようだ▼「言語化」とは、単に頭で考えていることをそのまま言葉にするだけではなく、物事を自分なりに噛み砕いて相手に伝えるまでの一連の流れを指している。「どう伝えるか」ではなく「何を伝えるか」「どう表現すれば相手に適切な行動を促せるか」を念頭におき、言葉が発することだ▼「言語化」によって3つのメリットを得ることができ。①考えを整理する力が身につく、②自分の考えを客観視することができ、③意見や提案が通りやすくなる▼当協会では、様々な時事問題を提起し、新聞への投稿、議会への提起をしてきた。そのうちで採用の機会も多々得ている。インプットした情報を、言語化という形で適切にアウトプットできている成果であろう▼マイナンバーカード、インボイス制度など課題は次から次とでてくる。集めた情報を的確に言語化し、一人でも多くの人に届くようこれからもアウトプットをし続けていきたい。(佐々木)





講師の坪田有史先生

9月23日、盛岡のアイーナで、「歯科接着を活用した臨床の勘所」講演会を開催しました。坪田デンタルクリニック院長・鶴見大学歯学部非常勤講師・東京歯科保険医協会会長・(一社)日本接着歯学会理事長の坪田有史先生を講師に、歯科接着全般についてご講演

# 接着のポイントを日頃の診療へ

## 臨床における歯科接着を学ぶ



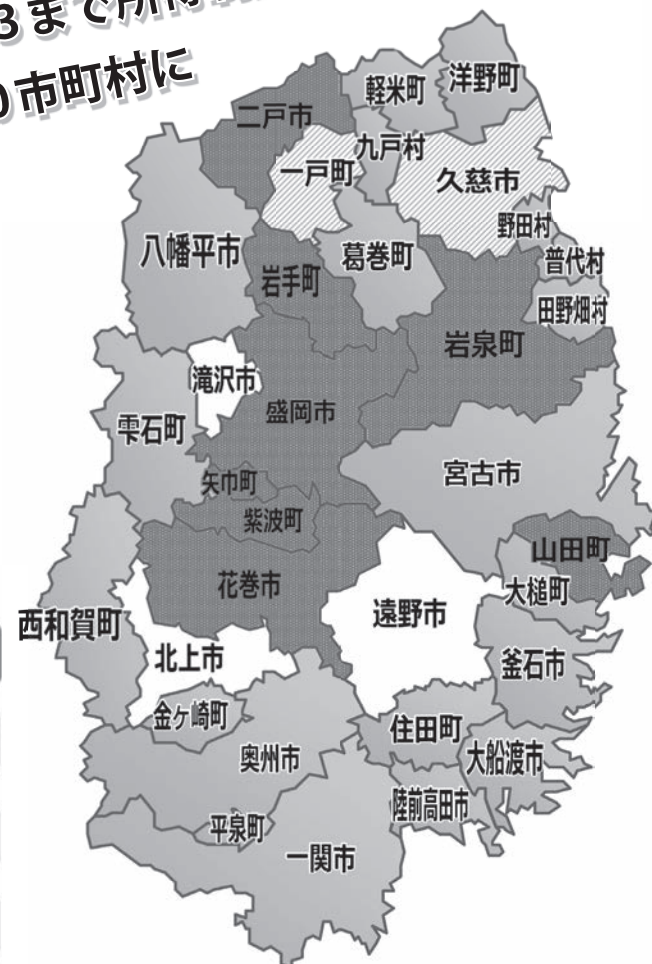
講演会のようす

坪田先生はまず歯科接着の効果として、歯と人工物の一体化が図られ、接着により応力が分散すること、そして、最小限の侵襲による修復治療が可能になることなどを挙げ、歯の延命や疾病予防につながるといったメリットを述べました。2002年に国際歯科連盟が、健康な歯を可能な限り維持し、う蝕を管理するコンセプトである「ミニマルインターベンションデンティストリー(MI)」を政策提唱したことに言及し、健全な歯を残し健康寿命を延伸することが重要視され、歯科接着の果たす役割の重要性が増したことを説明しました。

最近30年の材料の変遷について、新規歯冠修復・補綴材料の開発と進歩により信頼性の高いメタルフリーの臨床が可能になったとし、接合などのポイントを解説しました。機械的嵌合力や摩擦力による物理的な接合により修復物が維持される合着と、修復物の間に物理的な接合と化学的な接合の両者の作用により結合する接着の違いについて触れ、化学的結合では、金属の被着面は可能な限り清浄であることが必要であると述べました。メタルフリー間接歯冠修復における接着、金属と接着性レジンセメント、接着ブリッジなどの接着のポイントについて解説しました。

近年、保険適用の範囲が拡大されたCAD/CAM冠の成功のための注意点についても、アルミナブラスト処理やシランカップリング処理などが、詰め物の内面と接着する部分の表面の確実な前処理と確実な接着操作が肝要だと説明しました。講演の結論として、様々な材料が流通しているが、使用材料の添付文書などに記載されたメーカー指示を遵守することが基本であり重要であると締めくくりました。講演後には予定時間を超過するほど活発な質疑応答があり、出席された先生方の関心の高さが伺えました。診療にすぐに活用できる非常に有意義な講演会となりました。

### 高3まで所得制限なしで無料 20市町村に



#### 子ども医療費助成

- 通院・入院とも無料 所得制限なし
- 通院・入院とも無料 所得制限あり
- 自己負担あり 所得制限なし
- 自己負担あり 所得制限あり

#### 表. 子ども医療費助成制度の実施状況と自己負担額

(2023年9月現在・岩手県保険医協会調査)

自己負担のある自治体		※所得制限のある自治体は太字	
自治体	所得制限	自己負担 (レセプトごと)	
1 盛岡市	なし	【未就学】なし	【高校生まで】通院 750円 入院 2,500円
2 花巻市	なし	【未就学】なし	【高校生まで】通院 750円 入院 2,500円
3 <b>北上市</b>	<b>あり</b> (未就学までなし)	【未就学】なし	【高校生まで】通院 750円 入院 2,500円
4 <b>遠野市</b>	<b>あり</b> (4歳の誕生日の月末までなし)	【3歳~就学前】通院 750円 入院 2,500円	【小学生~高校生 通院】一部負担金の半額 【小学生 入院】5,000円 【中学生・高校生 入院】一部負担金の半額
5 二戸市	なし	【未就学】なし	【高校生まで】通院 1,500円 入院 5,000円
6 <b>滝沢市</b>	<b>あり</b>	【3歳~未就学】通院 750円 入院 2,500円	【高校生まで】通院 1,500円 入院 5,000円
7 岩手町	なし	通院 1,500円	入院 5,000円
8 紫波町	なし	通院 750円	入院 2,500円
9 矢巾町	なし	通院 750円	入院 2,500円
10 山田町	なし	【未就学】なし	【高校生まで】通院 750円 入院 2,500円
11 岩泉町	なし	通院 1,500円	入院 5,000円

当会では、9月に子ども医療費の助成状況について、岩手県内33市町村に対しアンケート調査を行いました。岩手県では、今年8月から現物給付の対象を高校生まで拡大しており、現在、県内のすべての市町村で高校生まで助成の対象となっています。アンケートの結果、所得制限なく無料で医療を受けられる自治体は20市町村(60.6%)、所得制限のない自治体は28市町村(84.8%)でした。県の基準では、通院は1500円、入院は5000円(レセプトごと)の自己負担があり、所得制限があります(3歳未満は除く)。

**県内の自治体  
所得制限・自己負担なし  
6割に  
子ども医療費助成**

と非課税世帯は自己負担なし)。自己負担のある自治体は、岩手県の自己負担額と同一かその半額の負担とされていました(表参照)。入院時食事療養費を助成している自治体もあり、花巻市では養育医療給付を受けている時のみ1歳まで自己負担なし、矢巾町では未就学児は自己負担なしで入院時に食事代の負担なく医療を受けられます。今年度は、8月に花巻市と二戸市が所得制限を撤廃し、奥州市と大槌町が自己負担をなくすなど助成が拡大しました。2024年8月には、山田町で自己負担をなくす予定です。しかし、依然として所得制限や自己負担の残っている自治体もあるため、まだまだ改善の余地があります。経済の格差が健康の格差にならないように、子どもの医療費助成をはじめとする医療の助成制度の拡充は必須です。





講師の千葉英男氏(右)と土居哲也氏(左)

9月28日「Googleビジネスプロフィール活用セミナー」ウェブ講演会を行いました。当会のホームページを作成している有会社ライフアシスタンスカンパニーの千葉英男代表取締役と土居哲也技術管理部チーフが講師を務めました。

無料のビジネスプロフィール活用でクリニックの存在感高める

レビューや評価を受け付ける機能もあり、顧客の声は信頼性を高め、他のユーザーにとって貴重な情報源となりうるもので、実際にインターネットユーザーの6割が口コミを気にしているというデータもあります。最も魅力的なのはこれらが無料で利用できる点で、誰でも簡単に登録できるため、ぜひ活用してほしいと話しました。



この本は不登校や引きこもり、いじめなどの社会問題に触れながら、それらの根底にある疎外感や日本社会の考え方の傾向などの要因を論じていく形をとっています。社会的背景から醸成された価値観や社会システムにおける問題を挙げ、それらがどう変化していったか、その結果どのような弊害があったのかを述べています。その見解

書評 「疎外感の精神病理」 和田秀樹 集英社 2023年9月15日発売 定価1,100円(税込)

く、削除申請を行ってもGoogleが取り消すのは1割以下であること、嘘や法律に抵触する場合は弁護士に相談するなどの対処法を示しました。参加者からは「勉強になりました。早速いろいろトライしてみます」「意外に簡単にできそうですね」という感想が寄せられ、Googleビジネスプロフィールの基本を学ぶことができました。

は、社会問題や人との関わりにおいてなるほどと思わされるものでした。コミュニケーション能力や共感性が社会で必要とされるようになり、評価される能力が変化したことや、学校教育における評価システムの変化に伴い、教育の現場ではコミュニケーション能力がある人が評価されるようになった結果、周りに合わせられない人は爪弾きにされるという弊害が生まれるのではないかとという見解は、現在の教育現場や人とのつながりに関する課題を端的に表している

この本では、依存性やうつ、統合失調症の状態について解説しつつ、考え方の傾向を述べた上で、精神病理の処方箋もいくつか提案しています。考え方の傾向の解説は、どの面が自分と重なるかを考えながら読むと、自分のメンタルヘルスを保つ方法や悪化要因への理解にもつながるほか、他者への理解にもつながり、日常生活に役立てることもできるのではないかと感じました。また、精神病理やカウンセリングを専門とする著者の精神科医としての考え方や症状の捉え方の一端に触れることができるという点でも参考になる本です。

事務局 橋本

川柳募集 川柳を募集します! 会員の皆さんに、普段の診療のことや医療・健康に関する川柳を募集します(匿名可)。送っていただいた川柳は、3か月に1回掲載している4コマ漫画「ホコちゃん」のテーマとして取り上げていただくことを予定しています。応募いただける場合は、FAXまたはメールにてお送りください。1句から応募いただけま

いのちの科学映像を中学・高校へ贈りたいー 生命科学映像の灯を次世代に 実際の細胞分裂や心臓が動き出す瞬間は、どんなに立派な写真や図解、標本、CGでも伝えられません。それができるのは、精緻な技術を用いて撮影された映像だけです。 NPO法人市民科学研究室(「市民にとってより良い科学技術とは」を考え、そのアイデアの実現を目指す活動をしているNPO)は17年前に、世界最高レベルの生命科学映像を制作してきたアイカム社と出会い、その作品のすばらしさに感銘し、以来、共同で上映会などを実施してきました。そうした映像が、若者たちがいのちを大切に育み、生命科学の研究や映像制作に興味を持つことにもつながる、と確信しています。その体験の機会を多くの若い人に提供したい、予算も限られ、購入も難しいだろう中学校や高校に、アイカムの科学映像作品セット(DVDブック19本、図書館販売価格約50万円)を寄贈しようと考え、まずは全国20校をめどにクラウドファンディングを始めました。 がん細胞を攻撃するリンパ球など、普段見ることのできない内容になっています。期間は2023年11月30日までです。 URLは https://congrant.com/project/shiminkagaku/8409 または右のQRコードからも支援可能です。 黒田 康之

FAX 019-651-7374 メール kana\_h@doc-net.or.jp

Instagram 始めました 当会はInstagramの公式アカウントを開設しました。主に講演会の案内やアンケート結果、月刊保団連について投稿しているのでぜひご覧ください。会員の先生方からのいいね・フォローをお待ちしております! これまでの投稿内容



# 歯科治療が糖尿病の処方箋にも

## 近年の糖尿病診療の状況を知る

10月4日、アートホテル盛岡にて、「糖尿病診療を取り巻く最近の話題」と題した講演会を開催し、県内より23名が参加しました。講師は、岩手医科大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野教授の石垣泰先生が務めました。



講師の石垣泰先生

者数とエネルギー摂取量に占める脂肪の割合や自動車保有台数には相関関係があること、岩手県は糖尿病有病率が全国第6位で、医療機関を受診した患者数は全国第7位であること、糖尿病の治療目標は血管合併症の克服であることなどを挙げました。



講演会のようす

糖尿病は、不治の病で療養生活を余儀なくされるという負のイメージ（ステイグマ）が社会に定着し患者の不利益につながるそうです。受付から診療中の先生に声をかける患者さんもいるため、待合室は開放的な設計にして受付から診療室の様子が見え、患者さんとコミュニケーションを取りやすいようにしています。

先生は開業する前は夫の仕事の都合で10年間宮古市に住んでいました。夫は中核病院の医師のため多忙を極め、お子さんが小さい頃の育児はワンオペだったと言います。

的な要素が大きいため、必ずしも患者の自己責任ではなく、治療と予後が大きく改善した今、このイメージを払拭する必要があり、肥満も糖尿病と同様に、超高度肥満の患者は小児期から肥満であることが多く、生活習慣や環境だけでなく遺伝的要因が大きい。自助努力のみでは限界があり、肥満について正しい知識を持ちフランクに話し合える環境が望ましいとしました。

糖尿病と歯科の関係に

自分の働く姿を見せられたこと。長女が歯科医師となり、夫婦で医院を継ぐことを申し出てくれ、現在長女は育児中で、今はその夫と共に移転した歯科医院で診療しています。医院では時には中高生の患者さんから進路相談の予約が入ることもあるそうです。普段から患者さんと多く話すことで、その患者さんの生活環境も分かってくると話す先生。そんな先生に信頼を寄せ、遠方から通う患者さんもいます。自分だけの家庭医で特別なことはできないと仰る村上先生ですが、多くの患者さんから慕われているのは先生の人柄あつてのことではないかと思いました。

# ごめんくなんしえ

会員紹介シリーズ ②

盛岡市に木目調の温かみのある歯科医院があります。2年前に移転したこの医院の内装は和やかな雰囲気、来た人が緊張しないようにしたいと村上先生自ら考えたもの

だそうです。村上先生は、資格が取れる大学に進学してほしいというご両親の意向もあり、岩手医科大学歯学部に進学しました。歯科医師は「人の痛みを取ってあげられること」や「いろいろな人に出会えること」が魅力。診療の際には、患者さんに丁寧に接することを心掛けています。患者さんは若い人が多く、家族で通院している方も多くいらっしゃ

宮古では子どもを友人に預かってもらい勤務医として働いていました。仕事と家事・育児との両立はとても大変だったようです。村上先生は「仕事と育児の両立は大変だったが、勤務先の院長をはじめとする周囲の方々の協力があったおかげで乗り越えられた」と話されました。

開業してよかったことは、自宅のそばに医院を構えたことでお子さんに



木目調で統一された待合室

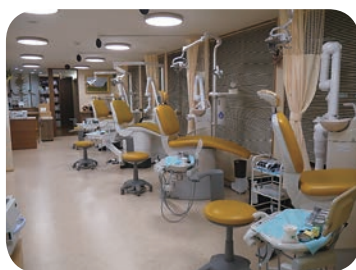
院長村上晶子先生 お孫さんと一緒に



院長村上晶子先生

お孫さんと一緒に

診療の際には、患者さんに丁寧に接することを心掛けています。患者さんは若い人が多く、家族で通院している方も多くいらっしゃ



診察室のようす

構えたことでお子さんに

構えたことでお子さんに

### 1 面関連記事

#### ◆診療報酬の大幅引き上げを求める医師・歯科医師要請署名に寄せられた一言 (一部抜粋)

- ・コロナのためにこの3年間収入も大きく減っています。引き上げが必要です (医師)
- ・物価上昇、賃金上昇に加え消費税分の負担を強いられている診療所の経営を持続させるために診療報酬UPが必要。患者窓口負担はこれ以上にすべきではない (歯科医師)
- ・我々は、いつまで我慢しなければならないのだろう。物価高騰というのは簡単だが、物が2倍になっても我々の収入は下がるのみ。国民の健康を守るため、頑張って戦いましょう (医師)
- ・コロナ禍、ウクライナ戦争などが拍車をかけ、物価高騰しています。医療分野でも医療材料費、設備費など上昇しています。一部の分野に限ることなく、全ての分野で医療危機を防ぐため、診療報酬の引き上げが不可欠です (医師)
- ・国民が安心して健康な生活を送るために必要不可欠な医療制度を崩壊させないためにも、政府に対して改善を要求します (医師)

さらに、インクレチン関連薬や食べるスピードとBMIの相関、朝食を抜くリスク、成人期体重増加と生活習慣病の高

関連にも言及し、良く噛んで食えることができるよう健康な歯を長く保つ必要があること、糖尿病は歯周病のリスクとなり食事療法を妨げることも説明しました。診療機器についても、血糖値のモニタリングシステムの進化と治療効果について述べ、毎日体重計にのることが減量につながるなど、減量におけるセルフモニタリングの重要性にも触れました。糖尿病治療薬や岩手医科大学外科における腹腔鏡下スリーブ胃切除後の成績も説明し、BMI35以上の患者の治療の選択肢になっていることも紹介しました。講演後には質疑応答が活発に行われ、実りある講演会となりました。

常任理事会より	9月
日時	2023年9月19日(火) 19:34~21:06
場所	盛岡フコク生命ビル会議室
出席者	役員、事務局併せて12名
1、	2023年8月期活動報告並びに2023年9月10月期活動計画が承認された
2、	診療報酬の大幅引き上げを求める医師・歯科医師署名に取り組むことが承認された
3、	インボイス制度の登録について承認された
4、	署名はがき付リフレットを新聞折り込みすることが承認された
5、	三種会員の申請について承認された
6、	講演会の企画について承認された